

ガーナ国

北部3州におけるライフコースアプローチに基づく地域保健医療サービス強化プロジェクト (CHPS for Life)

1. 背景

ガーナ政府は、保健セクターの中期国家開発政策（National Medium Term Development Policy Framework (NMTDPF) 2014-2017）の中で、プライマリ・ヘルス・ケア（PHC）とユニバーサル・カバレッジ（UHC）に焦点を当てている。そして、UHCの達成を加速化するためにPHCに関するアルマアタ宣言を基として、数々の戦略を実施している。注目すべきこれらの戦略の中には1999年に採用されたCommunity-based Health Planning and Services（CHPS）も含まれている。

2006年以来、JICAはアッパーウエスト州（UW州）において、2006年から2011年まで「アッパーウエスト州地域保健強化プロジェクト」（Scaling up of CHPS implementation）、2011年から2016年まで「アッパーウエスト州地域保健機能を活用した妊産婦・新生児保健サービス改善プロジェクト」（Project for improvement for Maternal and Child health through CHPS implementation）を実施し、標準化されたCHPSのメカニズム構築を行ってきた。

UHCの達成を加速化させるために、ガーナ政府はJICAに技術協力プロジェクトである「ガーナ国北部3州におけるライフコースアプローチに基づく地域保健医療サービス強化プロジェクト」の実施を要請した。プロジェクトではUW州での10年の活動の経験や成果を活用し、CHPS政策の体現化を目指す。また、PHCにおける課題に対処するためのモデルを提示していく。これらの活動は、費用対効果の高い方法で地理的な条件や疾病パターンの変化に対応できる、強靱な保健システムの構築に貢献することになる。これらの背景のもと、本プロジェクトは2017年7月から開始された。

2. プロジェクトの概要

(1) 実施機関

2017年7月から2022年7月までの5年間。

第1期: 2017年7月□2019年7月

第2期: 2019年8月□2022年6月

(2) 対象地域

UW州全域、ノーザン州（N州）のうち選定された最大3郡（East Mamprusi, Savelugu-Nanton, Tolongを想定しているが変更の可能性あり）、アッパーイースト州（UE州）。UE州については、KOICAが活動しているため、州保健局と協議の上、介入の方法やエリアを決定する。

(3) 枠組み (Project Design Matrix (PDM))

上位目標
北部3州において、CHPSを通じたPHCのアクセスと利用が改善されることにより、UHCの達成に貢献する。
プロジェクト目標
北部3州において、ライフコースアプローチに基づく地域保健医療サービスが強化される。
期待される成果
成果0: プロジェクトが適切に (定期的に) モニタリング・評価され、好事例や教訓が同国の保健政策実施機関であるGHS中央や他州と共有される。
成果1: 健康教育・住民参加促進・リファラルなどのPHCサービスを地域住民に提供するCHOおよび亜郡・郡・州の保健医療チームの国家基準に基づいた、CHPSの計画及び実施能力が強化される。
成果2: CHPSのコミュニティ活動が強化される。
成果3: 地元政府及び関係者によるCHPSのガバナンスが強化される。
成果4: ライフコースアプローチがCHPSのミニマム・パッケージの中で取り込まれるようになる。

期待される成果に係る活動概要と対象レベルは、下図のとおりである。

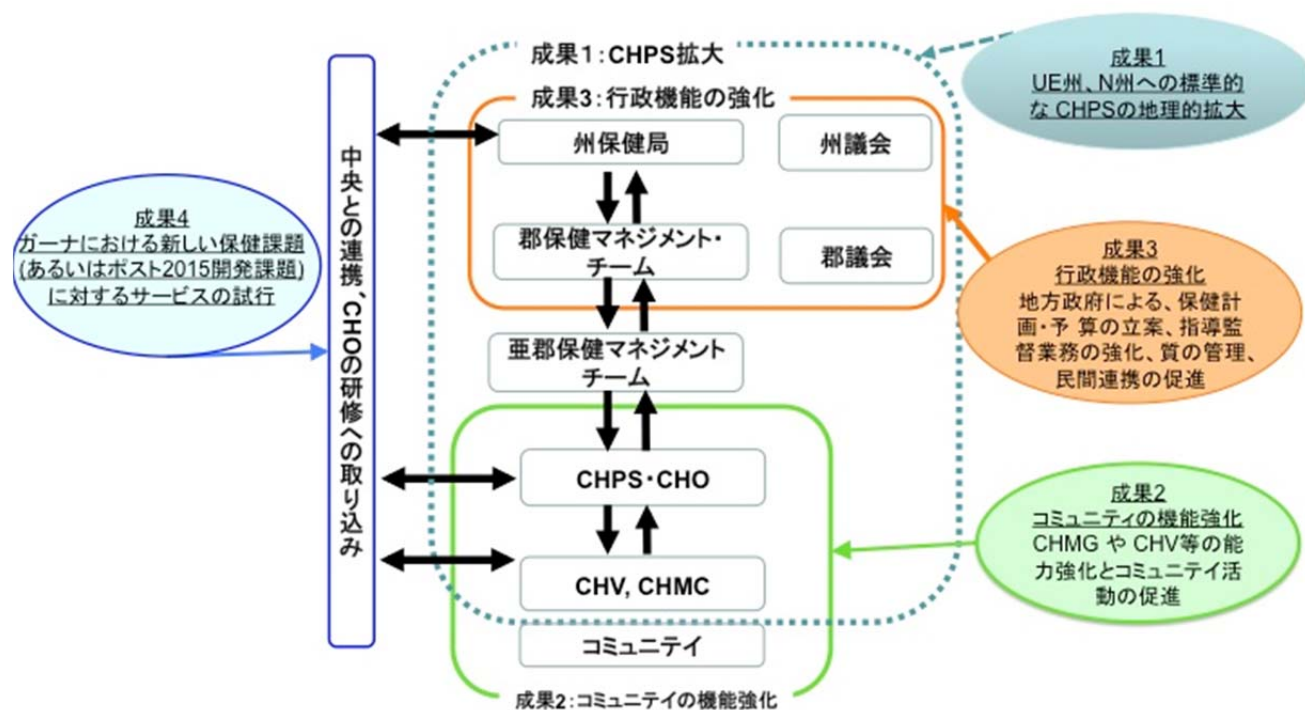


図1: プロジェクトの活動概要と対象レベル

(4) 主な活動

- **成果0:** ベースライン・エンドライン調査、進捗モニタリング、視察ツアー、本邦へのライフコースアプローチスタディツアー
- **成果1:** CHPS スコアカードの作成・普及、地域保健師 (Community Health Officer : CHO) 養成・現職研修、支援型スーパービジョン(Facilitative Supervision : FSV) 研修と実施、リファラル研修、対象州・郡間の相互訪問など、研修教材の国家標準化
- **成果2:** コミュニティ・データツールの開発と標準化、コミュニティ保健委員(Community Health Management Committee : CHMC)/地域保健ボランティア(Community Health Volunteer : CHV)対象の研修、

CHO やコミュニティによる地域保健活動の実施、相互訪問など、研修教材の国家標準化

- ▶ **成果3:** 郡議会(District Assembly : DA) や関係者による CHPS ガバナンスのモニタリング、DAによる CHPS の運営計画・予算措置・進捗管理に関する年次計画書の作成、DA による相互訪問
- ▶ **成果4:** ライフコースアプローチに基づくコミュニティレベルの保健サービス (ミニマム・パッケージ) の試行、結果と学びの共有

3. プロジェクトの関係者とマネジメント

(1) カウンターパート

プロジェクト・チームに加え、プロジェクトの運営を行うガーナ側のマネジメントは下記のとおりである。

- プロジェクト・ダイレクター：ガーナ保健サービス (Ghana Health Service : GHS) 総裁
- プロジェクト・コーディネーター：政策計画・モニタリング・評価局(Policy Planning Monitoring and Evaluation Division: PPMED) 局長
- プロジェクト・マネージャー：北部3州の各州局長

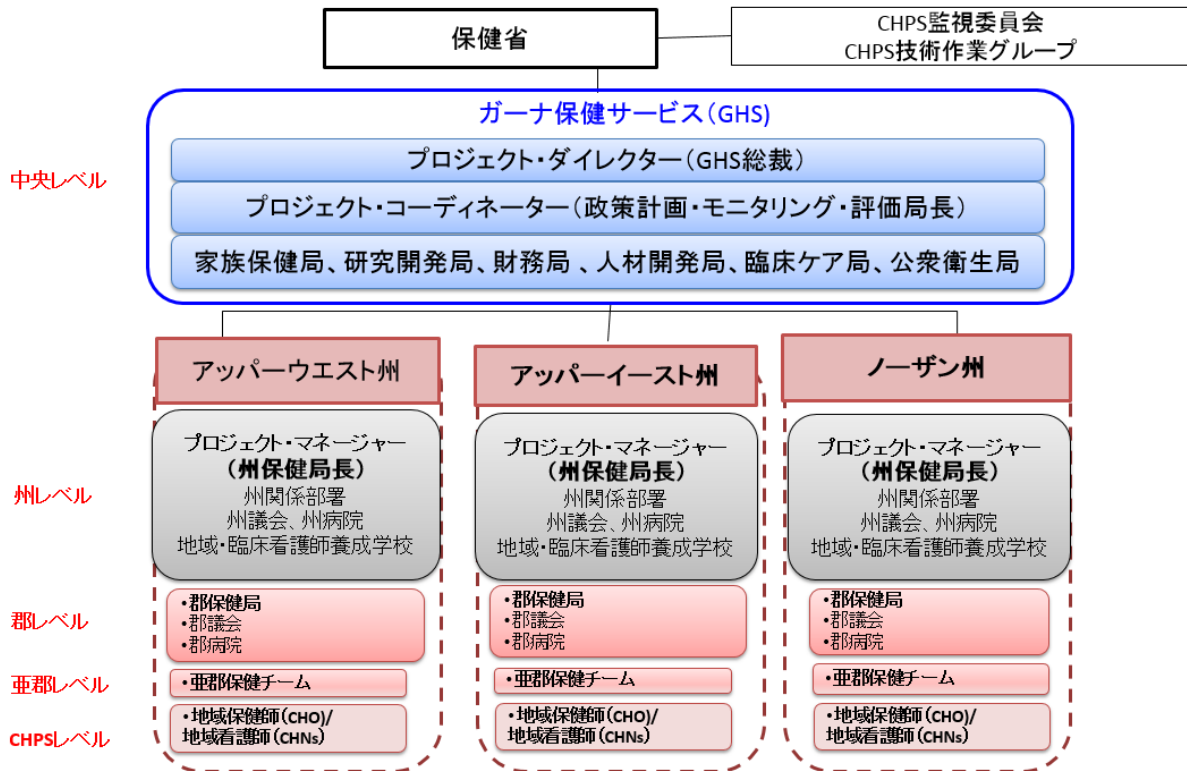


図 2: カウンターパート関連図

(2) マネジメント関連会議

プロジェクトの運営・マネジメントは下記の会議を通して行う。

会議名	目的・メンバー
1. 合同調整委員会 (JCC)	プロジェクトの最高意思決定会議、計画や進捗の承認、問題や戦略の検討など。 (3州で持ち回り。) 年1~2回 GHS 中央関係者、州の主要関係者、JICA, 日本大使館、日本人専門家、開発パートナー
2. 3州調整会議	3州間での活動について調整。戦略や計画、リソースの協議。(JCCの前後に開催) 年2回 3州の主要関係者。日本人専門家。JICA
3. 州マネジメント会議	各州のマネジメントとプロジェクトでの活動の計画、内容、進捗の共有と協議。 年4回 州関係者、プロジェクトメンバー、日本人専門家

(3) モニタリング

プロジェクトの進捗状況を把握する方法は下記のとおりである。

- 上記のマネジメント会議: プロジェクトの意思決定会議
- GHS 中央による視察訪問: GHS 中央によるモニタリングを目的とした3州への視察訪問
- 業務完了報告書とモニタリングシート: 半年毎に提出するモニタリングシートと、期末毎に提出する業務完了報告書

4. 対象地域

(1) 各州の対象エリア

- ・ CHPS システム強化は3州全てが対象となる。N州における CHO トレーニングは、対象郡である East Mamprusi, Savelugu-Nanton, Tolonのみ行う。しかし、FSV、CHPS データベース、リファラルシステム強化に関しては、N州の全ての郡が対象となる。
- ・ ライフコースアプローチに係る活動は UW 州で開始する予定である。この活動には、CHO・CHMC/CHV の能力強化やコミュニティ活動が含まれる。第1期で作成するライフコースアプローチに係るグッドプラクティスは、第2期において UE 州や N 州に普及していく。

表 1: 3 州における活動概要

	UW 州	UE 州	N 州
事務所	<p>前フェーズから使用していた CHPS ユニットのオフィスを、プロジェクトオフィスとして使用している</p> <p>現地傭人：4名 プロジェクト車両：4台 運転手：4名 (今後、2台のプロジェクト車両と2名の運転手はUE州とN州に異動予定)</p>	<p>CHPS ユニットのオフィスを KOICA と共用で使用予定</p> <p>現地傭人：1-2名 プロジェクト車両：1台 運転手：1名</p>	<p>研修センターにオフィス設立予定 (2017年12月-)</p> <p>現地傭人：2名 プロジェクト車両：1台 運転手：1名</p>
成果 1	<p>1. 既存の CHPS システム強化(FSV, リファラル, CHO fresher training, CHPS データベース)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新トレーナーの育成 • 新規に任命されたスタッフトレーニング • トレーニング教材の修正 <p>2. Pre-service training と郡での CHO オリエンテーション</p>	<p>1. CHPS 活動に係るトレーナーの能力強化(FSV, リファラル, CHO fresher training)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 既存のトレーナーの育成 • 新トレーナーの任命 • CHO と GHS スタッフの育成 <p>2. CHPS 管理ツールの紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> • CHPS データベースの紹介 • FSV データベースの紹介 	<p>1. CHPS 活動に係るトレーナーの能力強化(FSV, リファラル, CHO fresher training)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 既存のトレーナーの育成 • 新トレーナーの任命 • CHO と GHS スタッフの育成 <p>2. CHPS 管理ツールの紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> • CHPS データベースの紹介 • FSV データベースの紹介 • FSV モニタリングツールの紹介
成果 2	<p>3. ライフコースアプローチに関わる地域保健活動計画の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> • コミュニティによる地域保健活動計画のサポート • CHMC/CHV の能力強化 		
成果 3	<p>4. CHPS ガバナンス強化</p>	<p>3. CHPS ガバナンス強化</p>	<p>3. CHPS ガバナンス強化</p>
成果 4	<p>5. ライフコースアプローチに関連する活動の紹介</p> <p>6. CHO の能力強化</p> <p>7. ライフコースアプローチの CHPS のサービスパッケージ (ミニマムパッケージ) への取り込み</p>	<p>4. ライフコースアプローチに関連するグッドプラクティスの紹介</p>	<p>4. ライフコースアプローチに関連するグッドプラクティスの紹介</p>

5. 活動（2017年12月までに実施した主要な活動）

(1) 2017年10月26日27日：ワークプラン・ワークショップ @ タマレ

プロジェクトの方針・活動内容の紹介とワークプラン(第1期)作成のためのワークショップを実施した。合計50名の参加者が3州から集まり、各州における活動内容について協議した。プロジェクト目標の達成に向けて、3州間の繋がりを強化する大変良い機会となった。

(2) 2017年10月14日：第1回ライフコースアプローチ会議 @ アクラ

プロジェクトの主要な目的の一つは、ライフコースアプローチの概念と活動をCHPSサービスの中に入れていくことである。ガーナにおけるライフコースアプローチは、本プロジェクトが先鞭をつけて実施していく方針である。そのためGHS本部と戦略会議を開き、プロジェクトにおけるライフコースアプローチの概念を共有するとともに、プロジェクトが行う活動について情報共有を行った。

(3) 2017年11月1日2日：CHPSデータベース会議 @ ボルガタンガ・タマレ

CHPSの実施政策はガーナの重要な国家戦略である。CHPSの実施を行うにあたり、質のよいCHPSデータやデータ収集システムはCHPSに必要不可欠である。UW州には、前フェーズ案件で構築したCHPSシステムやツールが既に存在する。今回のCHPSデータベース会議は、UW州で構築したCHPSデータベースシステムとツールを、UE州とN州への導入と、初期データ収集を目的として開催した。保健情報オフィサーとCHPSコーディネーターの能力強化をはかることで他2州へのシステム拡大をはかる。

(4) 2017年11月13日：Pre-service トレーニングと郡のCHO オリエンテーション戦略会議 @ フ

CHO養成トレーニングは、コミュニティにおいて第一線で活動し、CHPS実施に欠かせないCHOを育成するための、2週間の研修である。前フェーズ案件では、UW州において研修を持続的に行うため、地域看護師養成学校や准看護師養成学校3校において、学校のカリキュラムにCHO養成研修内容を統合した。また1か月のフィールド実習も組み込んだが、実施には課題があるため、郡尾CHO採用時に行われるCHOオリエンテーションへの組み込みを検討している。会議では、学校でのCHPS研修と郡のCHOオリエンテーションにつき、現状の把握と今後の戦略を検討した。

※今後予定されている活動

- 2017年11月28日：キックオフ会議 @ アクラ (Accra City Hotel: 9:00-)
- 2017年11月28日：合同調整委員会 (JCC) @ アクラ (Accra City Hotel, 13:30-)
- 2017年11月29日：第2回ライフコースアプローチ会議 @ アクラ (Miklin Hotel, 9:00-)
- 2017年11月-2018年2月：ベースライン調査